

我が学びや

令和6年9月 6日
白川小 学校便り No.7

文責:校長 村上剛史

台風10号接近に伴い、一斉臨時休業等大変ご心配をお掛けいたしました。被害はいかがでしたでしょうか。被害を受けられた方々には心よりお見舞い申し上げます。

2学期がスタートして1週間が経ちました。子どもたちは、残暑が厳しい中、少しずつ暑さに慣れながら学校生活への切り替えを頑張っているようです。

2学期は、学校行事がぎっしり予定されています。楽しい一つ一つの行事に向けた取組を通して、自信を高めるとともに、他者との豊かなかかわりを学びとってほしいものです。お互いを尊重し、誰もが安心して自分らしさを発揮することができる環境（学校）をつくっていくことのよさを数多く経験してほしいと考えています。その中で、「自分の立場を相手に伝えるとともに、相手のことも知ろうとする」「主張を押し付けたり、相手を排除したりしない」態度の育成を図っていきます。そこで、「伝えよう」「聞こう」「わかろう」を本校の取組の中心に据えて児童へ働き掛けていきます。どうか、ご家庭のご理解とご協力をお願いします。以下、始業式の校長講話を掲載します。

◎夏休みに高めたい3つの力についての振り返りをしてみましょう。

1学期の終業式で話した「夏休みに高めたい3つの力」についての振り返ってみましょう。

1つ目「我慢する力」、2つ目「続ける力」、3つ目「振り返る力」

これは、校長先生が言っていた「我慢する力」だろうな。これは「続ける力」かな。これは「振り返る力」だろうと考えることはありませんか。

◎2学期は楽しいことがいっぱいあります。いくつか紹介しますね。

- ①見学旅行（1～4年生）
- ②集団宿泊教室（5年生）
- ③修学旅行（6年生）
- ④学習発表会
- ⑤リレーフェスティバル
- ⑥「学校のきまり」見直し検討会
- ⑦観劇会 など

◎「伝えよう」「聞こう」「わかろう」の実践で、自分たちの手で、みんなが安心して自分らしさを発揮できる学校をつくっていきましょう。

これらの行事をはじめ、学校生活を楽しいものにするのは先生たちではなく、みなさん自身です。だれもが安心して自分らしさを発揮できると、きっと楽しい学校生活になることでしょう。でも、ひとりひとり顔や性格が違うように、思っていること考えていることはみんな違います。だから、意見の食い違いや思い違いが生じてしまうことは当然です。誰もが、安心して自分らしく行動できるようにするためには、きちんと自分の思いを伝えること、他の人の思いや意見にしっかりと耳を傾けること、そして、お互いによい方法を見出すことがとても大切になります。そこで、2学期は「伝えよう」「聞こう」「わかろう」をみんなで実行していきましょう。

自分の考えを押し付けたり、考えが違う人をのけ者にしたりしては絶対にいけません。どうか、みなさん一人一人が力を出し合って、楽しい学校生活にしていきましょう。

◆樹木の剪定を実施

台風10号が各地で大きな爪痕を残しました。今後も台風が頻発することが懸念されます。本校では、西側通用門付近のソメイヨシノ（写真左）と児童育成クラブの南側のフェンスに隣接するイチョウ（写真右）の枝が伸びており、電線及び電話線に接触していました。強風で枝が折れて断線させたり、通行する人や車両に被害を与えてしまうことを心配しておりましたが、市への要望が通り、7月末にみどり公園課により剪定が施されました。油断はできませんが、近隣の皆様へ与えていた不安を少しでも解消することにつながればと考えております。

児童の安全確保は勿論のこと、近隣の皆様にも安心していただける施設となるよう努めてまいります。お気づきの点がありましたら、遠慮なくお知らせいただきますようお願いいたします。



◆外階段撤去 バックネット・防球ネット設置

夏季休業中に運動場北側の防球ネットと老朽化が進んでいた北校舎の外階段の撤去工事がありました。

そして、新たに高さ約7m防球ネットとバックネットが北校舎～西校舎の運動場側に設置します。併せて、低鉄棒と滑り台の再設置も行います。

工事期間は片付けまで含めて10月末まで予定されています。それまでの期間は、運動場にヤードが設置されて立ち入りできません。

児童や来校されるみなさんには、不便を掛けることとなりますが、どうかご理解のほどよろしくお願いいたします。

今度は、運動場が新しく生まれ変わります。楽しみに待っておいってください。



◆不審者対応研修の実施

9月3日（火）の放課後、全職員が参加して不審者対応研修を実施しました。児童が対象の訓練ではなく、職員による発生時における対応及び未然防止について、警察の協力を得て実施しました。助言を得ながらフィードバックを行う学びの多い研修でした。今後も様々な状況を想定した対応研修を重ね、整理したことを全職員で共有することで、全児童が学ぶ避難訓練に生かし、安全教育の実効性が高まるよう努めてまいります。

